

小金井市立図書館貫井北分室YAコーナーへようこそ!

●今月のテーマ「平和」を考える～PEACE～●

今年、米大統領の広島訪問という歴史的な出来事もあり、「平和」を考えるには良い機会の夏休みになりそうです。そこで今回は、戦争をとおして考える“平和”をテーマにさまざまな本を紹介します。



★少女の視点から戦争体験を描いた、作者の自伝的作品です。

『トンネルの森 1945』
角野栄子/著
KADOKAWA 913.6/カドノ



★戦時中、満州で出会った3人の女の子達が戦後どのように生きていったかを描いています。

『世界の果てのこどもたち』
中脇初枝/著
講談社 913.6/ナカワ



★原爆の恐ろしさ、悲惨さ、生と死、平和とは・・・被爆2世である著者が伝えるメッセージ!

『八月の光』
朽木祥/著
偕成社 K913/クツキ



★物語の結末に大きな衝撃がはしります。人が狂気化する戦争の恐ろしさを読んでみてください。

『片手の郵便配達人』
グードルン・パウゼヴァング/著
みすず書房 943/バ



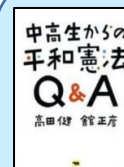
★皆さんは特攻隊を知っていますか? やりたい事がいっぱいあった若者たちが遺した思いとは・・・

『いつまでも、いつまでもお元気で 特攻隊員たちが遺した最後の言葉』
知覧特攻平和会館/編
草思社 916/チラン



★「平和」とはどんなことなのでしょう。言葉を未来につないでいく大切な1冊です。

『平和のための名言集』
早乙女勝元/編
大和書房 319



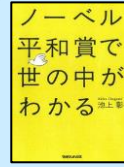
★18歳からの選挙もスタートするこの夏だからこそ、憲法にじっくり触れてみませんか!

『中高生からの平和憲法Q&A』
高田健/著
晶文社 323



★実際に戦争に行くってどうということなのかをいろんな立場の体験者から聞いています。

『14歳からの戦争のリアル』
雨宮処凛/著
河出書房新社 K31



★2011年からの受賞者とその受賞内容が池上さんの解説で書かれています。

『ノーベル平和賞で世の中がわかる』
池上彰/著
マガジンハウス 319

報告

きたまちYAサポーターミーティング



ブックDEトーク

6月19日(日)のミーティングはブックDEトーク(読書会)でした。サポーターがそれぞれイチオシの本を持って参加!個性あふれる楽しい会になりました。

＜紹介された本＞

- ★『なめこ文学全集』小嶋まり/著
- ★『アイスマーク』スチュワート・ヒル/著
- ★『博士の愛した数式』小川洋子/著
- ★『うちのトコでは』もぐら/著
- ★『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』七月隆文/著
- ★『異邦人』アルベール・カミュ/著
- ★『一九八四年』ジョージ・オーウェル/著



ブックDEトークは、
10月にまたやるよ!

YA夏袋

きたまちYAサポーターの参加は
いつからでもOK!遊びにきてね♡

お知らせ

次回のミーティングは「YA夏袋」(本の福袋)を作ります。

- ✿ 日時: 7月17日(日) 10:00~12:00
- ✿ 場所: ITルームA ※飲み物は各自持ってきてくださいね。

サポーターが選んだ“夏休みに読みたい本”が福袋になってYAコーナーに登場します。8月1日(月)からお披露目の予定です!

どうぞおたのしみに!!